



F·Marinos
Sports Club

REPORT 2024



理念



社団理念 / 活動理念

スポーツが持つ無限の可能性に挑戦し、地域社会と共に「夢」と「幸せ」、そして「未来」を創出する。

F・Marinos Sports Club

■スポーツで繋がる、創る

スポーツのチカラで人と人を繋ぎ、地域社会の未来創造のエンジンに

スポーツには、チカラがあります。人と人を繋ぎ、人の心を動かすチカラがあります。

そのチカラで、この街で困っている人を助けることはできないか。この街に楽しいことをもっと増やすことはできないか。

一人ではできないことも、沢山の仲間となら実現できる。

スポーツを、レクリエーションや競技としてだけでなく、人と人を繋ぎこの街の未来を創るエンジンに。

より良い地域社会を創るために、あらゆるテーマで、多くの仲間と。

F・マリノススポーツクラブは全ての人と、スポーツのチカラでこの街の未来を創ります。

■あらゆる人に、スポーツを

あらゆる人がスポーツを楽しみ、夢を追うことができる環境・機会を創出し、地域社会をスポーツでもっと幸せに

時には、感動と興奮を。

時には、カラダを動かす爽快感を。そして時には、共に楽しむ仲間を。世代・性別・国籍・宗教・障がいの有無。

あらゆる垣根を越えて、全ての人の毎日にポジティブな彩りを与えてくれるもの、それがスポーツです。

誰もがスポーツを楽しむことができ、誰もがスポーツで夢を追いかけることができる。

そんな街になるように、F・マリノススポーツクラブは、この街の皆さんと手を取り合って歩んでいきます。

■この街から、世界へ

世界で活躍できる選手を育成し、子どもたちと地域社会に夢と未来を

「世界で活躍できる選手を育てたい」この街で育ち「トリコロールの誇り」を持った選手が、一人でも多く世界の舞台上で活躍する。

それが、F・マリノススポーツクラブが実現したい未来。

この街の子どもたちと共に、この街で育った選手が世界を相手に戦うという夢を。

世界中でプレーされているサッカーだからこそ見ることのできる夢と未来を、

この街の皆さんと一緒に追いかけます。



SDGsの活動を「船」で表し、17のゴール達成に向けて航海する姿を表現しています。

シャレン!
Jリーグ社会連携

シャレン! (社会連携活動)
社会活動や共通のテーマ (教育、ダイバーシティ、まちづくり、健康、世代間交流など) に、地域の人・企業や団体 (営利・非営利問わず) ・自治体・学校などとJリーグ・Jクラブが連携して取り組む活動です。F・マリノススポーツクラブも地域の皆さまと共に様々な活動に取り組んでいます。



#命つなぐアクション

協力：日本体育大学保健医療学部 救急医療学科



日体大ライフサポートチーム 24回
啓発動画放映 18回
AED講習会 5回

心肺蘇生法やAEDの使い方など命をつなぐためのアクションをマリノスファミリー全体、そしてホームタウンの子もたちなど一人でも多くの方に知ってもらうために「#命つなぐアクション」として、様々な啓発活動に取り組んでいます。日本体育大学保健医療学部 救急医療学科と協定を締結し、講習会の開催のほか、日産スタジアムのホームゲームでは、AEDと救護セットを携行したスタッフがスタジアム内を巡回するなど、救える命の一つでも増やすために活動しています。



シャレン!ブース

日産スタジアムで開催されるホームゲームでのシャレン!活動を展開するブースです。通年で実施する衣料品リサイクル、みんなのケータイリサイクル、LEADS TO THE OCEANの他、様々なシャレン!活動を展開しました。



衣料品リサイクル



15回/469kg回収

日産スタジアムで開催されるホームゲームにて衣料品回収ボックスを設置し、来場者から不要な衣類を回収しています。不要となった衣類を再利用し、新しい商品を生み出すのが目的です。回収された衣料品やPETボトルなどの再生素材を使用したリサイクルグッズを販売しました。



みんなのケータイリサイクル



15回/109台回収

日産スタジアムで開催されるホームゲームにて携帯電話回収ボックスを設置し、来場者から不要な携帯電話を回収しています。回収された携帯電話は障がい者就労施設にて分解されています。

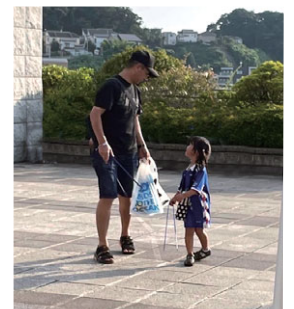


LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト



15回/1,037名

スポーツと清掃活動を軸に、海・自然環境への意識を高め、次世代に美しい自然を残すためのプロジェクトです。「海にゴミは行かせない!」を合言葉に、街から海に流れるゴミを減らし、本来の美しい海・環境を取り戻すためにホームゲームを中心に活動を行っています。



SDGs FES 2024

難しいイメージのあるSDGsについて、まずは気軽に参加してみ、楽しみながら理解を深め学べるイベントとして実施しました。



HEROs PLEDGE

スポーツ界横断で使い捨てプラゴミゼロを目指すプロジェクト「HEROs PLEDGE」の取り組みの一環として、給水スポットとオリジナルデザインで装飾されたゴミステーションを設置いたしました。



スポーツで繋がる、創る

地域との連携

ホームタウントリコロール化

ホームタウンをトリコロールに染めることで、街に彩と活気を創り出します。



横須賀市久里浜アートトイレ



JR新横浜駅階段アート



新横浜ペDESTリアンデッキ



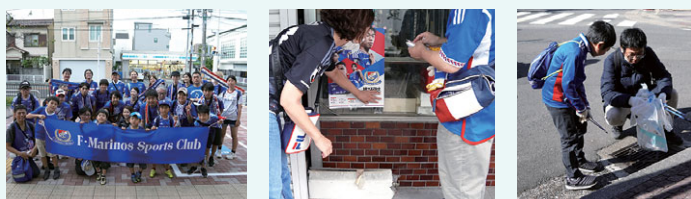
小机歩道壁

横浜市

清掃&トリコロール化活動

3回/82名

ホームタウンに暮らす人々と繋がり、ホームタウンにトリコロールの彩りやマリノスファミリーを増やしていく活動を行っています。



生物多様性に係る普及啓発

11 18 14 15 17 シャレン! Jリーグ社会連携

横浜市と生物多様性への理解、環境に優しい行動の促進を図るため、普及啓発に特化したものとして全国初となる「生物多様性に係る普及啓発協定」を締結しました。



港北区

植中 朝日選手「一日区長」就任

主催：港北区役所

横浜F・マリノスのホームスタジアムである日産スタジアムがあることから、港北区と「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」を締結しています。2016年度から7人目で今年度は植中 朝日選手が港北区一日区長に就任しました。スポーツのチカラで港北区を盛り上げるために様々な取り組みを連携して行っています。



新入生へのランドセルカバー贈呈

11 17

港北区26校/2,800名

港北区内の小学一年生へ事故にあわないようランドセルカバーを贈呈しました。





横須賀市

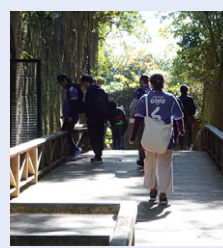
企業版ふるさと納税

横須賀市とともにスポーツを核としたまちづくりの推進や地域の活性化を目的として様々な取り組みをしています。

横須賀さんぽ



ホームタウンである横須賀市の魅力を感じて頂くため、チラシを作成し、横浜F・マリノスのホームゲームで来場者に配布しました。また、横須賀中央エリアの観光地を巡る「横須賀さんぽ」も実施し、普段あまり横須賀を訪れない方達に横須賀の魅力を知ってもらえきっかけとなりました。



SHIBA-Up



シャレン!

Jリーグ社会連携

美しい海を守るためにサッカーグラウンドなどで使用されている人工芝のゴミ(人工芝片)から新たなスポーツ用品へとアップサイクルする事業です。

巡回スポーツ教室



シャレン!

Jリーグ社会連携

子どもたちがよりサッカー/スポーツに親しめるよう、実施校のスポーツ環境向上を目的にサッカーボールの寄贈を併せて行いました。



大和市

交通事故防止運動



2024年7月11日から20日の夏の交通事故防止運動期間中に実施された運動キャンペーンにトリコロールマーメイズが初の一日警察署長を務めました。市民に対する同運動の周知および交通事故防止意識の向上を目指すため、交通安全宣言、呼びかけ、啓発物品の配布等を行いました。



大和市立図書館 横浜F・マリノス展示コーナー



大和市立図書館(シリウス)に『横浜F・マリノス展示コーナー』を設置していただき、クラブおよび大和市がクラブのホームタウンである認知度の向上や大和市立図書館への来場促進、読書への関心度向上にも繋がる取り組みです。



子どもの居場所づくり

協力：神奈川県、大和市



子どもたちが長期休暇(夏休み)中に安心して過ごすことができる「居場所」を創出し、そこで多くの仲間と共に楽しくスポーツ(サッカー)等を体験してもらいます。



イベント・おまつり

ホームタウンを盛り上げるために様々な地域のイベントやお祭りにブースを出展しています。



FLOWER Fes 2024(鎌谷区)



都筑区民まつり



三ツ池公園フェスティバル(鶴見区)

スポーツで繋がる、創る

学校

畠中 槇之輔選手、藤本 淳吾コーチ母校訪問

2024 シーズントップチーム所属の畠中槇之輔選手とユースコーチの藤本淳吾コーチがそれぞれの母校を訪問しました。現在小学校に通っている児童たちと交流しながら夢や希望を与えるための講話をしました。



畠中 槇之輔選手母校訪問(横浜市立中川小学校)



藤本 淳吾コーチ母校訪問(大和市立福田小学校)

F・マリノスプロジェクト

12回

ホームタウン内の小・中学校キャリア教育の一環として、社会参画や地域貢献に対する意識を高める為、児童・生徒が横浜F・マリノスや地域の課題を主体的に考え、解決方法を考える取り組みです。



横浜市立城郷小学校



横浜市立城郷小学校(展示)



横浜市立黒須田小学校

横浜市立杉田小学校との取り組み

横浜市立杉田小学校では個別支援学級の5,6年生が靴下の製造過程で出た、廃棄されてしまうはずの端切りの輪っかを使って作る"エコたわし"で様々な活動をしました。



エコたわし交流会

協力：株式会社ツクイ

児童たちがツクイ横浜栗木へ行き、利用者の方達といっしょにエコたわしを作りました。



エコたわし作り体験会

ホームゲームで開催された「SDGs FES 2024」でエコたわし製作のワークショップと販売をしました。





鴨居中学校「和みルーム」サッカー教室 & サツマイモ販売

横浜市立鴨居中学校には集団で学習に参加することが難しい生徒が落ち着いた環境で学習するための「和みルーム」というクラスがあります。今回、生徒たちが社会性を身につけるため、育てたサツマイモを横浜マリノス株式会社で販売し、普段あまり接しない人達とコミュニケーションをとることができました。売上は次年度の野菜販売に活用されます。



サッカー教室

野菜販売

本社見学



城郷中学校個別支援学級の先生から会社見学を引き受けてもらう事がなかなか難しいと相談を受けたため、社会への意識を育むために実施しました。当日は会社内の仕事風景を見学し、社員やコーチ達とコミュニケーションをとりました。また、グループワークとして仕事の説明や質問に回答しました。



職業講話



14回/800名

ホームタウンの中学校・高校を対象に「働く」ことの意義や目的、F・マリノスの仕事内容などを伝えています。



緑区多文化交流サッカー教室



横浜市緑区内在住の日本人及び外国人の小学生を対象にサッカー教室を開催しました。サッカーを通じて、文化や言葉の異なる子ども同士で交流をしました。



復興応援活動(岩手県山田町・宮城県東松島市)

サステナブル復興応援パートナー：株式会社 成城石井



岩手県山田町、宮城県東松島市をはじめ、東日本大震災でつながりができた地域や、災害に巻き込まれた地域を応援する活動を継続的に実施しています。



あらゆる人に、スポーツを 共生社会の実現へ（インクルーシブ）

横浜F・マリノスフットーロ



105回/121名(4,263名) 累計：902回

Jリーグ初の「知的障がい者サッカーチーム」として2004年に発足。現在約120名が在籍し、楽しむ、技術を習得するだけでなく、サッカーを通じて時間を守る、挨拶をするなど社会人としての成長を目指しています。



ユニフォームスポンサー：日産自動車株式会社、株式会社KJ、株式会社ハイテック・システムズ、株式会社ツクイ、株式会社CTC物流、株式会社ワイドアルミ、株式会社メティカルーツ

日本代表・ナショナルトレセン選出歴

【梅村 俊佑】

2024年知的障がい者サッカー日本代表

【小林 佑平、齊藤 光汰】

2024年知的障がい者フットサル日本代表

【鈴木 理恵、新田 里緒、矢島 琴海】

2024年知的障がい者女子サッカーナショナルトレセン

地域イベント、サッカー教室へのサポート

選手たちは様々なイベントで積極的にサポートし、社会との繋がりも深めています。



SDGs FES 2024



横浜市西区親子サッカー交流会



ランニングクラブ

ふあんタイム



28回/185名

知的・発達に障がいのある小学生を対象としたサッカー教室を定期的を実施しています。



あらゆる人に、スポーツを

共生社会の実現へ(インクルーシブ) / ふれあいサッカープロジェクト



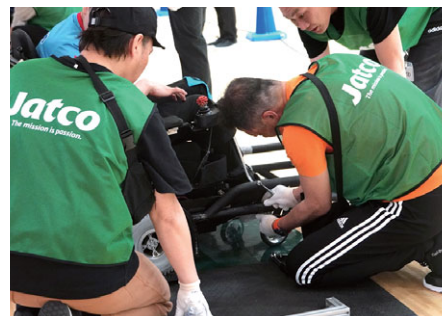
理念

電動車椅子サッカー大会

特別協賛：ジャトコ株式会社/協賛：株式会社ツクイ/イリソ電子工業株式会社



Power by JATCO 横浜F・マリノスカップ 第19回電動車椅子サッカー大会を開催しました。電動車椅子サッカーの魅力伝えると共に、地域社会の障がい者スポーツに対する理解度、関心度の向上、競技の普及・育成を図ることを目的に2002年より大会を開催しています。



特別支援学校 運動教室、サッカー教室



院内学級



トピックス

スポーツで繋がる、創る

ふれあいサッカープロジェクト

エンジョイフットボール



25回/945名 累計：732回/23,640名

成人の方を対象に定期的に開催しています。運動の機会を増やし、身体を動かす楽しさや仲間と汗を流す場を提供しています。



WOMANサッカー



30回/447名 累計：787回/11,200名

平日の午前中を中心に、女性を対象とした教室を定期的に開催しています。



ランニングクラブ



24回/400名 累計：214回/4,485名

ホームタウンの様々な場所です定期的に約10キロのランニングをしています。仲間と励まし合いながら一緒に走り、汗を流す運動の素晴らしさを伝えています。



あらゆる人に、スポーツを

この街から、世界へ

パートナー 法人賛助会員紹介

あらゆる人に、スポーツを

食育・健康への取り組み／活動実績



サッカー食育キャラバン



シャレン!
Jリーグ社会連携

302回/25,000名 累計：5,561回/471,295名

小学校の体育の授業でボールを使った運動教室(サッカー)の実施と「食」の大切さを伝える活動を30年以上継続して行っています。



食育講話



シャレン!
Jリーグ社会連携

40回/10,000名

ホームタウンの中学校を対象に、正しい食習慣、年齢に応じた好ましい食生活に関する知識を伝えています。



ツイ・サンシャイン保土ヶ谷でのサッカーエクサイズ



高齢者の方々がいつまでも「健康で明るく生活できる社会」を目指して、認知症予防にも重要な運動指導を実施しております。



スポーツだいすき!



シャレン!
Jリーグ社会連携

主催：大和市/協働：大和シルフィード

18回/450名 累計：50回/11,368名

大和シルフィードのコーチと一緒に子どもたちへ、体を動かす楽しさやボールを使った運動、試合などを実施しています。



ふれあい活動実績

「ふれあい」の数だけ、この街に笑顔が増えていく。

	2024年2月～2025年1月		累計	
	回数	人数	回数	人数
食育・職業講話	[54回]	[10,800名]	[666回]	[122,110名]
フットーロ(活動回数・登録選手数)	[105回]	[121名]	[902回]	-
エンジョイフットボール	[25回]	[945名]	[732回]	[23,640名]
WOMANサッカー	[30回]	[447名]	[787回]	[11,200名]
ランニングクラブ	[24回]	[400名]	[214回]	[4,485名]
スポーツだいすき!	[18回]	[450名]	[50回]	[1,368名]
サッカー食育キャラバン	[302回]	[25,000名]	[5,561回]	[471,295名]
障がい者サッカー教室(ふあんタイム含む)	[57回]	[836名]	[166回]	[4,169名]
横浜市スポーツセンターサッカー教室	[48回]	[1,200名]	[2,182回]	[44,632名]
横須賀フットサル	[18回]	[378名]	[878回]	[15,618名]
その他(スポンサー教室・イベント等)	[50回]	[2,356名]	[713回]	[30,068名]
合計	[731回]	[42,933名]	[12,851回]	[728,585名]

この街から、世界へ

スクール



理念

概要

マリノスサッカースクールは、1985年日産サッカースクールとして発足し、創設30年を超える歴史あるサッカースクールとして、現在約3,000名の会員が在籍しています。スクール創設当初より「真のスポーツマン」を育てることを目的として「Players First」を大切に、幼児～中学生までの体力作り・サッカーの技術向上だけでなく、マナーや協調性、自主性を養い、心身の成長を促し、F・マリノスの一員として地域に貢献できる人材を育成しています。2018年度より、新たに大人クラスを開校し、生涯スポーツとして子どもたちだけでなく、大人もサッカーを楽しめる環境づくりをスタートしました。サッカーを通して地域に根ざした運営を行うことで、優秀な選手・人材を世界に輩出していくこと、サッカースクールに関わった全ての子どもたちの人生がスポーツを通して豊かに、そして社会に貢献できる人材を育成していくことを目指します。



トピックス

スポーツで繋がる、創る

スクール指導コンセプト

「サッカーを通して子どもたちの未来をつくる」を合言葉に、4つのコンセプト「Enjoy=楽しむ」「Aspiration=向上心」「Independence=自立」「Thinking=考える」を大切にスタッフ一同、指導に当たっています。

Enjoy
楽しむ



Aspiration
向上心



Independence
自立



Thinking
考える力



【会員数】

北エリア		中央エリア		南エリア		大人
新吉田校 (横浜市港北区)	[363名]	大和校 (大和市)	[279名]	追浜校 (横須賀市)	[283名]	[275名]
小机校 (横浜市港北区)	[199名]	二俣川校 (横浜市旭区)	[434名]	リーフスタジアム校 (横須賀市)	[226名]	スペシャルクラス (選抜クラス)
東山田校 (横浜市都筑区)	[241名]	ShunsukePark校 (横浜市西区)	[236名]	京急上大岡校 (横浜市港南区)	[312名]	[160名]
中山校 (横浜市緑区)	[141名]			トリコパー・スズキ校 (横須賀市)	[69名]	
ライフネット菅田校 (横浜市神奈川区)	[52名]					(合計: 3,270名)

あらゆる人に、スポーツを



にじいろくらす

知的・発達に障がいのある小学生が定期的に活動できる場として、2022年にマリノスサッカースクールで開講したクラスです。障がい等の有無に関わらず、スポーツをする喜びや楽しさ、失敗を恐れずにチャレンジしていくことを目標として、クラス名にもある「にじいろ」から7つのアクションにも重視して取り組んでいます。



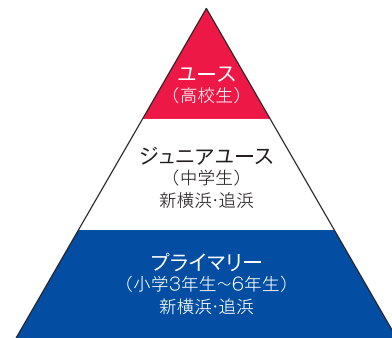
パートナー 法人賛助会員紹介

この街から、世界へ

アカデミー 

世界で活躍できる選手を育成し、子どもたちと地域社会に夢と未来

横浜F・マリノスアカデミーは、Jリーグ開幕前の1986年から活動を開始し、日本サッカー界に多くの才能、人材を供給してきた歴史ある育成組織です。私たちは、トップチームの「アタッキングフットボール」を基軸に、計画的で一貫性を保った育成プログラムによって、選手1人ひとりの潜在能力を最大限に引き出すことに日々努めています。さらに、国内外の活動を通じて、選手たちがグローバルな視点を身につけ、国際的な舞台でも競争できる能力を養なっています。また、育成への情熱を高く持ったコーチングスタッフが選手たちの競技力と人間性双方の成長に注力し、選手たちが国内外のプロの舞台で成功を取るための基盤を築きます。



年代別の日本代表候補選手



世界で活躍できる選手を育てるために

アカデミーの選手一人一人が、将来の夢や目標に向かってチャレンジする姿勢を育てるために、キャリアデザインのサポートを実施しています。研修や勉強会、職場体験などトレーニング以外の時間も大切にしています。また、地域や周囲の人々への感謝の気持ちを込め、定期的に清掃活動を実施しています。



プレ・プロフェッショナル研修



よのなか科(職場体験：ホームゲーム運営)



よのなか科(職場体験：ホームゲーム運営)



トップチーム交流会



勉強会



社会貢献活動(横浜マラソン)



社会貢献活動(清掃活動)



ユース

在籍人数：42名
主な戦績：全国優勝 8回 高円宮杯JFA U-18サッカープリンスリーグ 2024 第2位/第48回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-18) 大会出場



ジュニアユース

在籍人数：新横浜 49名 追浜 50名
主な戦績：全国優勝 9回/高円宮杯 JFA U-15サッカーリーグ関東1部 第7位/第39回 日本クラブユースサッカー選手権 (U-15) 大会 ベスト8/高円宮杯 JFA 第36回全日本U-15サッカー選手権大会出場



プライマリー

在籍人数：新横浜 34名 追浜 28名
主な戦績：全国優勝 3回/世界大会第3位 1回/2024年度 JFA U-12リーグ TOP1部 [新横浜:第2位] [追浜:第4位]



スポーツで繋がる、創る

パートナーとの連携



はまっ子交通あんぜん教室



シャレン!
Jリーグ社会連携

24回/4,805名

主催：港北区役所/協力：港北警察署、アネスト岩田株式会社、港北交通安全協会、トリコロールマーメイズ

悲しい交通事故から子どもたちを守るために、港北区内の小学校で交通安全教室として、横断歩道の歩き方や自転車の乗り方などを伝えています。



フレンドリールーム

協賛：いちご株式会社

協力：横浜こどもホピス 横浜リハビリテーション事業団



シャレン!
Jリーグ社会連携

5回/9家族34名

日産スタジアムで開催されるホームゲームにて、病気や障がいなど様々な事情により観戦が困難なご家族をご招待しています。皆様が安心して観戦できる部屋です。



ホームタウン夢プロジェクト

協力：一般社団法人横浜サッカー協会



シャレン!
Jリーグ社会連携

10回/576名

F・マリノスに在籍したOBが、少年少女サッカーチームの練習に参加し、子どもたちが普段聞くことのできない思いや悩みについてOBと会話したり、元プロサッカー選手の技術の高さを身近で感じることで、子どもたちに「夢」や「目標」を持つ大切さを伝えています。



献血



シャレン!
Jリーグ社会連携

協力：神奈川県赤十字血液センター

献血を広めていくための様々な活動を行っています。2024年は、横浜F・マリノス公式キャラクターのマリノスケが、神奈川県献血広報大使に就任し献血を呼びかけました。



パートナー・法人賛助会員紹介

サステナブル オフィシャルスポンサー



サステナブル DX推進パートナー



サステナブル スポーツテクノロジー & エンタテインメントパートナー



サステナブル 共生社会創造パートナー



サステナブル 復興応援パートナー



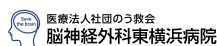
サステナブル グローバル 人財育成パートナー



サステナブル フードサポートパートナー



サステナブル メディカルサポートパートナー



サステナブル エデュテインメントパートナー



F・Marinos Sports Park Partner



ホームタウン「夢」プロジェクトパートナー



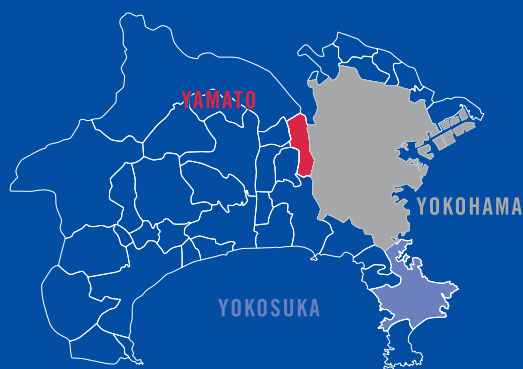
法人賛助会員

アイグズ株式会社 / 有限会社I・T・P / 株式会社アスール / Annexe R&D株式会社 / 株式会社and / 池内精工株式会社 / 株式会社インフィニティー / 株式会社ALLXS / かながわ信用金庫 / 学校法人上白根学園 上白根幼稚園 / 北川商事株式会社 / 木村金属工業株式会社
 株式会社共立メンテナンス / キンコーズ・ジャパン株式会社 / 株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン / QUEBRA VILLAGE / さくら不動産管理株式会社 / 株式会社三我 / 株式会社ジェスコ / 一般財団法人シティサポートよこすか / 芝浦シヤリング株式会社
 株式会社ジャミング / 株式会社じゅうしん / 学校法人聖心学園 / 積水樹脂株式会社 / 有限会社SENCA / 曹洞宗 大本山總持寺 / 株式会社ソシオネクスト / 田中・石原・佐々木法律事務所 弁護士 佐々木好一 / T&N保険サービス株式会社 / ナイス株式会社
 日産スタジアム施設管理共同企業体(株式会社ハリマビステム / 西田接美株式会社 / 株式会社協栄) / ニホンターフメンテナンス株式会社 / 株式会社ハース / びあ株式会社 / ヒトヒト株式会社 / 株式会社フジタ 横浜支店 / 株式会社フレックスホーム
 株式会社フロント / 株式会社ヘガサス / 株式会社北斗 / 株式会社マコト / 株式会社三好商会 / ユニプレス株式会社 / 一般社団法人横浜サッカー協会 / 株式会社横浜総合 / Lien株式会社

この街が、「100年先」も、
「夢」と「幸せ」に溢れる街であるために。

あらゆる人がスポーツで「夢」を追うことができる、あらゆる人がスポーツで「幸せ」になれる地域社会へ。

この街のすべての人と、共に。



一般社団法人F・マリノススポーツクラブ

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-3 DSM新横浜ビル5F
TEL:045-285-0674 (地域連携本部)
FAX:045-285-0687
MAIL : yfm-hometown@marinos.co.jp
OFFICIAL HOMEPAGE <http://www.f-marinos-sportsclub.com/>

